

## 令和2年度 山梨県立美術館協議会（会議録）

○令和2年度の山梨県立美術館協議会は、新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、一都三県への緊急事態宣言が継続している状況を鑑み、協議会の全委員に資料を送付して意見を伺うことで会議開催に替えることとした。

### ○委員

保坂一仁、塩島明美、向山富士雄、鶴田一查、古屋知子、保坂博司、高野孫左衛門、野口英一、原田由紀彦、安出光伸、仲田道弘、雨宮芙美子、神宮司洋子、河野瑞穂、手島俊樹

### ○各委員からの意見等

- 1 令和2年度事業内容等について
- 2 令和3年度事業予定等について
- 3 その他

#### 1 令和2年度事業内容等について

- 1-① コロナ禍という状況下での美術館は、「ガイドラインに基づいての運営…」といっても、試行錯誤を繰り返しながらの運営だったと思います。スタッフ研修を行い、感染症対策もしっかり行っていることがよくわかりました。
- 1-② 自宅に居ながら美術鑑賞ができる「バーチャル展示室」の解説、周辺情報を発信することにより集客増を図るインスタグラムの開設など、独自の工夫を行っている。With コロナの日々に必要な企画と思われれます。今後も期待したいと思います。
- 1-③ コロナ禍の中、美術館運営は徹底されていて、とても安心して館内に入ることができました。ありがとうございました。また、開催された特別展はとても良かったです。

#### 2 令和3年度事業予定等について

- 2-① 令和2年度に予定どおりに開催できなかった「キューガーデン展」や「蜷川実花展」など、令和3年に開催できることになり、心待ちにしていた方々にとっては朗報だと思われれます。
- 2-② 企画展に合わせたレストランでの特別メニューや売店での関連グッズ販売など、美術館に来る楽しみの一つにもなっているので、今後も力を入れて欲しいと思います。
- 2-③ 入り口での検温、手指の消毒を行った上でマスク着用、3密を回避した見学方法など、「新しい生活様式」での美術館鑑賞方法を今にもまして考えなければならないと思われれます。

2-④ 国(文化庁)、県ともに文化の観光活用が今後の大きな方向性となっている。このため、「県民の来館」だけでなく「県民及び観光客の来館」に取り組むべき。

2-⑤ 令和3年度も安心して見学できる美術館運営をお願いいたします。これからの特別展も楽しみにしています。

### 3 その他

3-① バラ園が年々充実したものになっている気がします。協力会のバラの手入れ部門の方々の努力の賜だと思います。年間を通しての地道な活動に頭の下がる思いです。その活動も少し発信できる機会があれば良いと思います。

3-② 美術館の入り口の立ち枯れた樹木が気になります。もう少し見栄え良くきれいに見えるようにならないのでしょうか。予算の関係もあると思いますが県外観光客にも美しさをもっとアピールできると思います。庭園を含めたたずまいが美術館(文学館)としての価値を高めると思います。門を入った時の印象も大事だと思います。